

ブロック名：呼吸（ブロック①）

月 日	曜 日	時 限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
10.2	火	I	浸透圧	吉田 稔(客)	生化学	1. 水および溶液の性質 2. 溶液の濃度とその表し方 3. 浸透のしくみと浸透圧、拡散	高校までの物理化学生物の範囲、 医系自然科学を十分に理解する
"	"	II	気体	"	"	1. 理想気体と実在気体 2. 混合気体におけるドルトンの法則 3. 気液平衡や気体の溶解度	高校までの物理化学生物の範囲、 医系自然科学を十分に理解する
"	"	III	緩衝	"	"	1. 生体における緩衝系 2. 酸・塩基の強さと水素イオン濃度指数(pH) 3. 緩衝作用とHenderson-Hasselbalchの式との関連	高校までの物理化学生物の範囲、 医系自然科学を十分に理解する
10.3	水	I	呼吸①基本的事項	船橋 利也	細胞・器官 生理	1. 基本的な気体や大気に関する法則や原理 2. 基本的な気体や大気に関する数値 3. 肺に関する基本的な自然科学の法則	高校までの物理化学生物の範囲、 医系自然科学を十分に理解する
"	"	II	上気道の構造の構造	星野 敬吾	人体構造	1. 鼻腔の構造 2. 4種の副鼻腔の構造（鼻腔への開口部） 3. 喉頭の構造（構成する軟骨と声帯を調節する筋）	事前配布の授業プリントに目を通し、 主要なキーワードの参考書該当 部位を一読していただくこと
"	"	III	下気道・肺の構造と胸膜 腔・縦隔	"	"	1. 左右気管支の差異 2. 肺区域 3. 胸膜腔と縦隔の構造	事前配布の授業プリントに目を通し、 主要なキーワードの参考書該当 部位を一読していただくこと
10.5	金	I	呼吸器系の発生とその奇 形	平田 和明	人体構造	1. 呼吸器系の発生 2. 気管支の発生 3. 肺葉の発生	高校までの物理化学生物の範囲、 医系自然科学を十分に理解する
"	"	II	呼吸②肺の呼吸のメカニ ズムの基礎	船橋 利也	細胞・器官 生理	1. 肺がどのように大きくなるか 2. コンプライアンス 3. サーファクタントの機能	高校までの物理化学生物の範囲、 医系自然科学を十分に理解する
"	"	III	呼吸③肺機能	小倉 裕司	細胞・器官 生理	1. 肺気量分画 2. 努力性肺気量 3. 換気の原理	高校までの物理化学生物の範囲、 医系自然科学を十分に理解する